

第4号様式

指定管理業務評価表

施設名	富士見市びん沼自然公園	令和6年度	事 業 報 告
指定管理者名	びん沼アクティブネイチャーパークJV		
指定期間	令和5年4月1日　～　令和10年3月31日	所管課	都市整備部　都市計画課

自己評価…指定管理者　所管評価…市(施設所管課)					
1 業務の実施体制	個別評価項目	確　　認　　基　　準	自己評価	所管評価	施設所管課評価意見
	人員体制	事業計画書どおりの人員を配置している。	A	A	
		必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A	
		責任者(代理する者)が施設に常駐している。	A	A	
	職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用許可や施設案内等を迅速かつ適正に行っている。	A	A	
		名札を着用し、業務遂行にふさわしい服装となっている。	A	A	
		利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A	
		言葉遣い、態度などの接遇は適切である。	A	A	
		事業計画に即し、職員研修を計画的に実施している。	A	A	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A	
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備され、個人情報の漏洩、滅失等の対策を講じている。基本協定書の個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A	
2 業務の内容・水準	情報公開	情報公開に関する規程が整備され、適切に対応できる。	A	A	
	報告書の提出	定期報告書、事業報告書を期限内に提出している。	A	A	
	安全、緊急対策	事故・災害等緊急時のマニュアルがあり、訓練が実施され、連絡体制や対応体制ができています。また、事故等があった場合、適切な対応が行われ、報告が市にされている。	A	A	
		事故防止及び安全確保(避難通路の確保等)のために施設や設備の目視や点検を行い、常に施設や設備の状況を把握している。	A	A	
	維持管理	条例等の規定に基づき開館日、開館時間を遵守している。	A	A	
		外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	A	
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A	
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設を利用できている。	A	A	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理し、利用者が快適に利用できているか。	A	A	
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A	
	事業運営	事業計画書に即し、自主事業を実施している。	A	B	一部の自主事業が未実施だったことからBとした。
		事業内容が利用者サービスの向上に寄与している。	A	A	
		地域や他施設との連携に努めている。	A	A	
	利用者アンケート	利用者の要望等の把握方法は適切である。	A	A	
		要望等の対応策は適切である	A	A	
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準にある。	B	B	利用者が目標数値の約7割となったことからBとした。
	管理記録	業務日誌を適切に整備、保管している。	A	A	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A	
	環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A	
3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	A	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は適正である。	A	A	
	経費縮減	経費が縮減され、又はその縮減に向けた努力を行っている。	A	A	
総合評価			B	B	
成果・課題等	(自己評価)　びん沼自然公園の指定管理2年目として課題解決の為に、新たな施策を取り入れ運営して参りました。パークゴルフの利用人数は目標達成に至らなかったものの、市内全小学校へ向けての無料利用券配布や定期的にパークゴルフ大会を開催することにより、家族での利用や大会前の練習で訪れる方も多く見られ、さらに多くの方々へ認知されるようになりました。また、老人福祉センターびん沼荘の指定管理者と連携し、相互利用いただくことで初年度より、2,600人増の結果となりました。夏季にはウォーターパーク、冬季には牡蠣小屋も開催し、公園の新たな目玉としてPRにも繋がりました。課題としては、春や秋の繁忙期に駐車場不足が発生し、来園いただく機会も失ってしまっている状況です。近隣住民の皆様や企業様からも駐車スペースのご協力を賜りたく依頼活動を勧めていきたいと考えております。				
	(所管評価)　運営2年目として、仕様書や協定書を遵守し、利用者が快適に利用できるように適切に管理運営を実施していた。また、新たな自主事業を展開するとともに、イベント開催など公園の賑わいづくりに努めた結果、収入金額が目標を上回ることであった。しかしながら、事業計画書に記載している自主事業が一部実施されていないことや利用者数が、目標数値より約3割下回ったこと、その要因の対策に課題があったことから総合評価をBとした。				

※評価区分

①	個別評価	AA(優　良)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理運営内容である。 A(良　好)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容である。 B(問題含)＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理運営内容の一部に問題がある。 C(要改善)＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な管理運営内容である。
		
②	総合評価	AA(優　良)＝個別評価がすべてA以上であり、かつAAが過半数である。 A(良　好)＝個別評価がすべてA以上である。(上記以外) B(問題含)＝個別評価がすべてB以上であり、Bの割合が1割未満である。 C(要改善)＝上記以外